

# おーぶん

URL PC版 <http://www.yaic.gr.jp/>  
携帯版 <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行:横浜AIDS市民活動センター  
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地  
尾上町ビル9F  
TEL:045-650-5421 / FAX:045-650-5422  
E-mail:info@yaaic.gr.jp  
平日:13:00~20:00 / 土・日・祝:10:00~17:00  
(火曜日 夜間検査のため休館)  
監修:横浜市健康福祉局

## “性感染症”って知ってるか~い?



性感染症というと「遊んでいる人になる病気だから自分には関係ない」と思っている人もいるのではないのでしょうか?しかし現在、性感染症は「性生活習慣病」といわれるほど、性的接触がある人なら、予防をしなければ誰でも感染する病気ともいわれるようになってきました。そこで、今回は性感染症のことをご紹介します。

その前に...  
今の君は、性感染症のことをどのくらい知っているか  
クイズに答えよう!  
“はい”か“いいえ”で答えてね!

**第一問!**  
性感染症とは、1種類しかない。

**第二問!**  
すべての性感染症は、治療すれば絶対治る!

**第三問!**  
性感染症の検査はお金がかかる。

**第四問!**  
HIV・エイズは性感染症ではない。

**第五問!**  
性感染症は、症状があるからなくても、すぐ分かる。

**第六問!**  
性感染症は症状が軽ければ自然に治る。

クイズの答えはここ見てね

さて、あなたはクイズに何問正解出来ましたか?  
正解の数によって、今のあなたが変わります  
全問正解はAへ / 4~5問正解はBへ / 1~3問正解はCへ / 全問不正解はDへ

A.すごいぞ!全問正解だ!あとは、予防を実行するだけだ!



B.おいしい、あと少しで完璧だったのに!



C.ちょっと、あぶないぞ!もう少し知識をつけよう



D.わ~、全問不正解だ~!!あぶないぞ!



クイズの答えは全問“いいえ”でした!

### どんな結果がでましたか?

さて、ここからは、もっと“性感染症”のことを知ってもらうために“性感染症”のことを紹介します!結果が良くなかった人は、しっかり知識を身につけてね!逆に結果が良かった人も読んでレベルアップだ!次のページへGO!

## 性感染症とは...

“性感染症”とは、主に性的接触で感染する病気のことをいいます。最近では、“STI”とか“STD”といわれています。性感染症といわれているのは、クラミジア、淋菌感染症、性器ヘルペス、梅毒、HIV・エイズなど、ほかにもたくさんの種類があります。

これが最近なる人が多い、性感染症たちだ！

聞いたことがある人もいますのでは？



クラミジア

クラミジア / 男性の場合、軽い尿道炎や、おしっこをしている時に軽い痛みがあります。女性の場合、軽い腹痛やおりものが増えます。しかし、多くの人は症状に気づきません。放置していると不妊症の原因になります。

りんきん

淋菌感染症 / 男性の場合、おしっこをしている時に痛みがあったり、尿道から膿などが出ます。女性は症状がない場合が多く、症状があっても、軽い下腹部の痛みや、おりものが増える程度で気づきにくいです。最近では、性器以外の喉に感染するケースも多くなっています。



おーぶん106号にくわしく載ってるよ！

性器ヘルペス / 性器やその周辺に水ぶくれができます。治療しても、原因となるウイルスが体に残るため、体調がよくない時に、再発することがあります。

ばいどく

梅毒 / 感染すると性器などにできものができます。(できものは、やがて中心がえぐれてきます。)その後、全身の皮膚に赤い斑点などができますが、時間がたつと自然に消えます。再発しても、自然に消えますが、その間にも病気は進行していきます。病気を放置していると数年後には、病気が進行し心臓や脳などに障害がでて、最悪、死に至ることがあります。

昔の病気じゃないよ  
今も現役で  
わるさしてまっせ！



梅毒

次号はHIV・エイズ特集だよ！  
ぜったい読んでね

HIV・エイズ / 感染直後に風邪のような症状が出ることがありますが、多くの人は症状がありません。感染後、治療しなければ、数年～10数年後、免疫が低下し、健康な人がならないような病気になります。今の医学では、病気の進行を遅らせることはできませんが、完全に治すことはできません。

## 性感染症になっても、そのことに気付かない人がいるってホント！？

性感染症は「症状がない = 性感染症になっていない」というわけではありません。でも説明しましたが、クラミジアや淋菌感染症などは、病気になっていても症状がなかったり、症状が軽すぎて、気付かないことがあります。症状がないからといって体に影響がないというわけではありません。そのまま気付かずにいると、どんどん病気は進行していき、不妊症になったり、いろんな症状の病気に進行したり、他の性感染症がうつりやすくなってしまいます。

じゃあ、どうしたら自分が性感染症になってるって分かるの？



「症状がないのに、なってるかどうか分からないじゃん！」と思った人もいますのでは？性感染症は症状以外にも病気になっているかを判断できる方法があります。それは、“検査”を受けることです。

「でも、症状がないのに病院に行って検査するのはな〜」という人は、福祉保健センター（保健所）などの無料匿名の検査に行きましょう。匿名だから名前をいう必要もないし、お金もかからないので、気軽に受けられますよ！あと、検査を受ける時は、パートナーと一緒に受けることも大事ですよ。

検査のことはここを見てね HIV検査・相談マップ (<http://www.hivkensa.com>)



## なったらどうする？

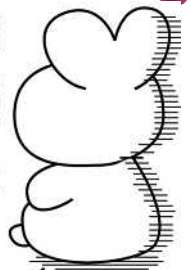
もし、性感染症になってしまったらどうしますか？病気になってしまったら、もちろん病院へ行きますよね。でも、いざ病院へ行こうと思った時に、どの病院へ行ったらいいのか迷う人もいるのでは？

性感染症になったら、男性ならば、性感染症科（性病科）や泌尿器科。女性は、性感染症科（性病科）や産婦人科、婦人科（最近ではレディースクリニックなんと呼ばれてますよ）に行きましょうね。

## こんな勘違いは危険！

性感染症は自然に治る病気ではないので絶対に放置しないでね。そのまま治さずにいると、他の人にうつしたり、病気が進行して大変なことになったりするの、すぐに病院へ行ってね！

妖精のボクは  
どこに行ったら...



動物病院  
とか？



## 性感染症にならない予防とは！！

### 性感染症の予防 3箇条

性的接触をしないこと。

（感染経路となる性的接触をしなければ性感染症になることはないのだ～！）

性的接触の時には、正しくコンドームを使うこと。

（正しく使用しないと効果がないのだ～！）

正しいコンドームの使用方法はここを見てね <http://www.yaic.jp/category/condom>

性的接触をする前に、自分とパートナーが性感染症になっていないか調べること！

（過去のパートナーから、性感染症がうつっていたのに、そのことに気づかないケースがあるので、性感染症になっていないか検査することは大事なことなんだ～！）

**予防をしない性的接触は、いつでも、性感染症になる危険があります。  
自分の体のこと・相手の体のことを大切にすると、おのずと、  
性感染症の予防につながっていきます。ぜひ、この機会に考えてみてね！**



## ケンサEXPO

7月30日（木）～8月2日（日）の4日間開催されたケンサEXPO 09に参加してきました。4日間の来場者はなんと、5万人だったそうです。このケンサEXPOでは、検査に関する情報がいっぱいイベントで、会場ではいろいろな検査が体験でき、お子様から大人まで楽しめるものでした。もちろん、横浜AIDS市民活動センターのマスコット“コムちゃん”も大人気で、あまりの人気ぶりに、突如、写真大会も開かれました！



モテモテの“コムちゃん”！！

## AIDS文化フォーラム in Yokohama

8月7日（金）～9日（日）に、かながわ県民センターで行われました。横浜AIDS市民活動センターは展示ブースに参加し、パンフレットやオケース（コンドームケース）などを配布しました。このAIDS文化フォーラムは、横浜市外からもたくさん来ていて、いろんな県のHIVの現状などを聞くことができとても勉強になりました！



展示会場入口  
センターのブース



ご  
報  
告



# ☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まねえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。  
横浜市立瀬谷中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



**“特定のパートナーだから、安心!?”**  
もし、パートナーが過去に性的接触を持った相手から性感染症に感染していて、そのことに気付かなかった場合、予防をしないと感染してしまうことがあります。ですから、特定のパートナーとの性的接触でも、過去に感染しているかもしれないので、安心してはいけません。もし、「感染しているかも…」と不安に思ったときは検査を受けましょうね!